



福祉をめぐって意見交換

社会福祉大会

9月3日、市民会館で「新津市社会福祉大会」が開かれ、例年より多い約170人の参加者でにぎわいました。参加者は、「高齢化社会への対応」など各テーマごとに4つの分科会に分かれて意見交換を行いました。各分科会では、「年金を増額してほしい」、「身障者への偏見をなくそう」、「施設入所者と在宅者の格差を正す」といった切実な問題をめぐって真剣な話し合いが行われました。

またこの大会で、次の方々が表彰されました。
社会福祉事業永年勤続功労者…高橋節子さん(萩島)、木伏政一さん(蒲ヶ沢)
社会福祉事業功労者…深井文輝さん(大蔵)、野瀬ヨシさん(山谷町2、3ページで紹介)

身体障害者自立更生者…大杉一蔵さん(福島)、先川俊道さん(蔵曾根)
母子家庭自立更生者…遠藤幸子さん(金沢町2)、石本ミネさん(山谷町1)、宮崎ハルさん(程島)、甲田ナツさん(山谷町2)、清田ヨセさん(北上2)

市では新津市緑化建設業組合の協力を得て、「グリーンドクター制度」をスタートさせました。
これからのまちづくりに緑を欠かすことはできませんが、この制度は、ご家庭での緑化に関する質問にお答えするためのものです。「庭を作りたがどの位かかるだろうか」、「どんな樹を植えたらいいのだろう」、「病害虫が発生したてが防除方法は?」—こんな質問がありましたら、ぜひこの制度をご利用ください。
相談日や相談場所は次のとおりですが、直接、相談場所

へ出向かれても結構です。電話での相談も受けつけます。また状況によっては、現地指導も行う予定です。
相談日 九月二十日、十月十一日、十月二十五日、十一月八日、十一月二十三日(時間は午前十時~午後六時)
相談場所 秋葉公園無料休憩所(二〇三六、四一四九七二)
なお相談日以外でも、緑化についてお知りになりたいことがあるときは、市役所都市計画課までご連絡ください。

相談を取り次いで一週間以内にご返事をさせていただきます。また要望があれば現地指導も行きますので、気軽にお申し込みください。連絡先の電話番号は次のとおりです。
四一四二二一 内線二七六、二七七 時間は午前九時~午後四時
※相談はいつでも無料です。

山では火の後始末を



緑と憩いの場を、市では秋葉山一帯を総合公園につくり変える計画を立てて、毎年着々と工事を進めています。去年の夏には噴水のある正面地区広場が完成しましたし、いまはこのすぐ上に、日本庭園の建設が進められています。(写真左上)
このように面目を一新した感のある秋葉公園には、散策を楽しむ人の姿がめだつて増えてきました。でも心配なのは火の始末です。とくにこれから紅葉の季節を迎え、投げ捨てたタバコの火が枯れ草に燃えて移ったりしたら大変です。吸いがら入れている所では吸いがら入りに、またない所ではよく消して土に埋めるなどして火の後始末をしつかりとしましょう。
秋葉山は、市民みんなの財産なのですから、

お買物、ご用命は市内で

《新製品》
サンス・ノアール
500円・1,200円
2,200円・3,200円

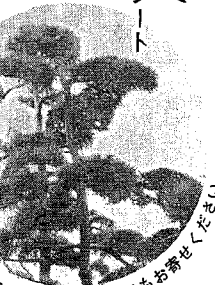
にいつオーサカヤは新しい感覚の素適なおかしを作りました。パリッとするサブレに甘いレーズンクリームをサンドしました。

いつ **オーサカヤ** 本町2 TEL2-0112



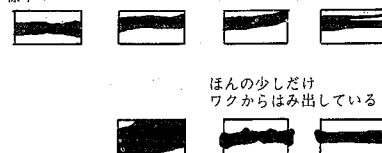
「緑」の質問をどうぞ

グリーンドクター制度がスタート



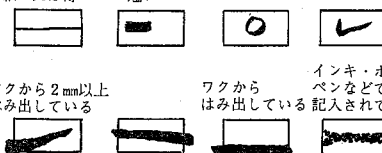
〇良いマークの例

標準のマーク



×悪いマークの例

細い又は薄い



秘密は固く守られます
なおこの調査は、統計をとるためにだけ行われます。調査票に記入していただいた内容を、調査員や調査関係者が他に利用したり、統計以外の目的に使用することは、法律により固く禁じられています。個人や家庭の秘密はしっかりと守られますので、安心してご記入いただけます。また、ご記入のしつかりと守られるようお願いいたします。

10月1日、国勢調査

5年ごとの見直しです



前回(昭和50年)の国勢調査では新津市の人口は5万8,970人でした。今回はどのくらいでしょうか

調査員は九月二十四日から十月一日の間に調査員が回収に伺います。「国勢調査」は、国の最も基本的な、重要な調査です。ぜひ協力ください。

調査票の配布は24日から30日まで

三十日までの間にみなさんのお宅を訪問し、調査票の記入をお願いします。そのとき調査票といっしょに、「調査票の記入の仕方」もお配りしますので、よくお読みになったうえで調査票に記入してください。

調査票には、あなたのお宅にふだん住んでいる方全員に

記入していただきます。留守の方、長期滞在者、生まれたばかりの赤ちゃんなども含まれます。ただし、三か月以上にわたって旅行、入院、外出、せきなどをしている方は、その場所での調査票に記入していただくことになります。なお留守がらの方や近く引っ越しを予定している方は、調査員が調査票を配布に伺ったときに、そのことをお申し出ください。

記入は必ず黒の鉛筆で

ご記入いただいた調査票は国(総理府統計局)に集められ、そのまま光学式マーク読取装置という機械にかけて集

計されます。この機械は、文字がワックからはみ出していたり、調査票が折れたり、曲がったり、汚れていたりすると、正確に読み取ることができない場合があります。十分ご注意ください。また調査票に記入するとき、必ず黒鉛筆をお使いください。万年筆やボールペンはたとえ黒でも絶対にご使用にならないように。黒鉛筆以外は「読取装置」が作動しません。答えをマークで記入する所は、上の図のように、ワックいっぱい太く、濃く、はつきりと横線を記入してください。誤って記入したときは、消しゴムできれいに消してから記入されるようお願いいたします。

お買物、ご用命は市内で

全国ジネット・チェーン店
寝具のデパート
ふとんの姥山屋
本町3丁目 ☎(代表) 2-0261

靴なら何でも揃うイザワ
靴のイザワ
*あるく楽しさを
お届けする—*